

船橋市立医療センター新病院開院支援業務プロポーザル評価基準

1. 趣旨

この基準は、船橋市立医療センター新病院開院支援業務に関する提案のうち、最も優秀な提案を行ったと認められる者を選定するための必要な事項を定めるものである。

2. 評価項目及び配点

評価項目			配点		評価の詳細																		
技術力	同種または類似病院の実績 ※過去10年間	統括責任者の実績【1人】	5.0	20.0	実績として記載した同種業務のうち、当院に近い要件を有する病院への従事実績を2件まで評価（1人あたり5.0点） ①一般病床数400床以上 ②救命救急センター（三次救急医療機関）に指定されている病院 ③都道府県がん診療連携拠点病院又は地域がん診療連携拠点病院に指定されている病院 ④過去5年以内の実績（※ ※平成30年2月7日以降に契約履行が完了した実績） 従事実績のうち①～④を満たす数（1病院あたり最大4項目×2件＝最大8項目） 6項目以上：5.0点 5～3項目：3.0点 2項目以下：1.0点																		
		主任担当者の実績【3人】 （医療機器担当、情報システム担当、運営計画担当）	15.0																				
価格	見積金額		10.0	10.0	参加申込者の見積金額について、低い順に評価 最も低い：10.0点 2番目に低い：6.0点 3番目に低い：2.0点																		
業務実施方針及び手法	提案書	【テーマ1】 業務実施スケジュール及び内容説明	15.0	90.0	提案書及びプレゼンテーション・ヒアリング等の内容により、右表の得点基準に応じた5段階評価（A～E）を行う。 <table border="1" data-bbox="1098 1064 1374 1256"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価の意味</th> <th>得点係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>極めて良好・極めて高い</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>良好・高い</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>普通</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>やや不十分・やや低い</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>不十分・低い</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価の意味	得点係数	A	極めて良好・極めて高い	1.0	B	良好・高い	0.8	C	普通	0.6	D	やや不十分・やや低い	0.4	E	不十分・低い	0.2
		評価	評価の意味			得点係数																	
		A	極めて良好・極めて高い			1.0																	
		B	良好・高い			0.8																	
		C	普通			0.6																	
		D	やや不十分・やや低い			0.4																	
E	不十分・低い	0.2																					
【テーマ2-①】 業務提案：医療機器等整備計画策定支援	15.0																						
【テーマ2-②】 業務提案：情報システム検討支援	15.0																						
【テーマ2-③】 業務提案：運営計画策定支援	15.0																						
【テーマ3】 新病院が機能的・経済的に病院運営するための課題と解決策	15.0																						
【テーマ4】 新病院開院支援業務に関する自由提案	15.0																						
評価点合計			120.0																				

3. 提案テーマの評価について

- テーマ1『業務実施スケジュール及び内容説明』（配点：15点）

（評価の視点）

- ・ 開院までの各段階における業務内容を具体的にイメージできるか
- ・ 業務のフローや工程に妥当性があるか
- ・ 説明がわかりやすく、事業者の意欲や熱意、実行力を感じられるか
- ・ スケジュールの柔軟な変更対応が可能な提案となっているか

- テーマ2『新病院開院支援業務の各業務に対する提案』

①医療機器等整備計画策定支援（特に高額・大型医療機器について）（配点：15点）

②情報システム検討支援（配点：15点）

③運営計画策定支援（配点：15点）

（評価の視点）

- ・ 開院までの各段階における支援内容が具体的にイメージできるか
- ・ 提案内容は病院スタッフの目線から効率的・効果的か
- ・ 部門横断的な課題の解決方法について、業務担当者の実行力を感じられるか
- ・ 業務担当者の説明のわかりやすさ、専門性、質疑への回答の的確さは十分か

- テーマ3『新病院が機能的・経済的に病院運営するための課題と解決策』（配点：15点）

（評価の視点）

- ・ テーマに対して的確に回答しているか
- ・ 建設事業期間だけではなく将来を見据えた病院経営、コスト意識の視点があるか
- ・ 昨今の病院建設を取り巻く環境を理解した提案となっているか
- ・ 当院の特徴や地域の特性を理解した提案となっているか

- テーマ4『新病院開院支援業務に関する自由提案』（配点：15点）

（評価の視点）

- ・ 有効で実現性のある提案となっているか
- ・ アイデアや視点が独創的で、業務を委託するメリットを感じられるか
- ・ 当院の特徴や地域の特性を理解した提案となっているか
- ・ 全体を通して提案内容が優れているか

4. 順位の決定方法

- 「2. 評価項目及び配点」に定める方法により、選定委員ごとに評価項目の点数を合計して、合計点が高い順に順位を付する。各事業者に付された順位を順位点とし（例：1位=1点、2位=2点）、全ての選定委員の順位点を合計し最も順位点が少ない者を第1位とし、次に順位点が少ないものを第2位とする。
- 1人の選定委員において、複数の事業者の合計点と同点となった場合は、順位点を按分する（例：1位に2事業者が並んだ場合は、 $(1+2) \div 2 = 1.5$ 点ずつを2事業者に与える）。
- 全ての選定委員の順位点の合計が同点となった場合、1位とした選定委員が多い事業者を上位者とする。以降同様に、より上位の順位の獲得数で選定する。
- 上記においても、決まらない場合は、各選定委員の順位点に置き換える前の評価点の合計が高い事業者を上位者とする。

【順位点による採点の例】

	委員①	委員②	委員③	順位点	結果
A社	1位	1位	2位	4点	1位
B社	2位	2位	1位	5点	2位
C社	3位	3位	3位	9点	

5. 受託候補者及び次点者の選定

「4. 順位の決定方法」に定める方法により、最終的に1位となった事業者を受託候補者とし、2位となった事業者を次点者とする。ただし、全ての選定委員の評価点数の合計点が、満点の5割に満たない場合は、選定委員会で協議を行い、適切ではないと判断した場合は、受託候補者又は次点者として選定しない。